

# フォトマッチ チームチャンピオンズカップ 2026 NAGANO

## 一次予選 レギュレーション

### 第1条 総則

本レギュレーションはフォトマッチ競技の開催に必要な事項を定めたものである。

### 第2条 理念

本レギュレーションで定める競技を「フォトマッチ」と呼ぶ。フォトマッチは以下の理念に基づき運営される。

「正しいから美しい。真剣だからより楽しい」

フォトマッチの参加者全員が **Fair Photographers** の精神に則り、イコールコンディション（撮影機会と条件の均等）における真剣な競い合いの場を通して、真の風景写真の美しさを求め、より大きな撮影の楽しさと創造の喜びを得る。

**Fair Photographers**（フェアフォトグラファー）とは、風景を撮る者が個々に考え、行動することによって自然環境や地域に優しいフェアな撮影スタイルの確立を目指すプロジェクトを称する。北海道美瑛町で長年風景写真家から愛されてきた「哲学の木」に起きた悲劇的な出来事に危機感を共有する雑誌『風景写真』代表・石川 薫（当時編集長）と風景写真家・中西敏貴そしてグラフィックデザイナー・三村 漢の3人によって2016年に提唱された。その趣旨に共感した雑誌『フォトコン』編集長・藤森邦晃が、『風景写真』との合同企画の開催により写真界に広めることを提案したことによって、**Fair Photographers** の精神に基づく初のイベント「チーム チャンピオンズ カップ」が2016年に実現した。本レギュレーションで定める「フォトマッチ」は2016年に試行大会として開催した「チーム チャンピオンズ カップ 2016」を始点としている。

### 第3条 一次予選の名称

一次予選の名称を「フォトマッチ チームチャンピオンズカップ 2026 NAGANO 一次予選」（PHOTO MATCH Team Champions Cup 2026 NAGANO 一次予選 略称 TCC2026NAGANO 一次予選）とする。

### 第4条 一次予選の構成

一次予選はプレーヤー5名でチームを組み、個々のプレーヤーが撮影した作品に対し、2026年6月13日に開催する一次予選競技会においてジャッジの評定を受けチームご

との順位を付ける構成とする。

#### 第5条 一次予選の主催と運営

一次予選は月刊『フォトコン』編集部（株式会社 日本写真企画）および隔月刊『風景写真』編集部（株式会社 風景写真出版）が共同で主催し、開催にあたり一般社団法人日本学生写真部連盟に運営を委託する。

#### 第6条 実行委員会の構成と名称

主催者は実行委員会を構成し、その名称を「フォトマッチ チームチャンピオンズカップ 2026 NAGANO 一次予選実行委員会」（以下、実行委員会）とする。

#### 第7条 実行委員会の構成員

実行委員会の構成員として次の者を定める。

1. 一次予選の実行委員長として次の者を定める。実行委員長は一次予選を統括し、代表としての責務をおこなう。  
藤森邦晃（月刊『フォトコン』編集長）
2. 一次予選の顧問として次の者を定める。顧問は一次予選全般にわたり第2条に挙げる理念に基づいた助言と提言をおこなう。  
石川 薫（隔月刊『風景写真』代表）
3. 一次予選の運営委員として次の者を定める。運営委員は一次予選の準備、渉外、予選競技会の運営、競技システムの開発と稼働および結果の記録、会計等をおこなう。  
水島章広（一般社団法人 日本学生写真部連盟 代表理事）
4. 一次予選競技会の司会者として次の者を定める。司会者は第12条に挙げる一次予選競技会の構成にしたがって競技の円滑な進行をおこなう。  
永原耕治（隔月刊『風景写真』編集長）
5. ジャッジとして次の3名を定める(50音順)。ジャッジは一次予選競技会において作品の評定と講評にあたる。  
佐藤 尚（写真家）  
藤森邦晃（実行委員長兼務）  
永原耕治（司会者兼務）
6. 構成員は状況に応じて変更することがある。

#### 第8条 競技監督

1. 実行委員会はフォトマッチの競技としての公平性および普遍性の担保のため、競技監督を定める。
2. 競技監督は一次予選全体における競技の責任者として、一次予選が本レギュレーショ

ンや社会通念および第2条に挙げる理念に照らし適正かつ円滑に行われているかを判定し是正する。

3. 競技監督は個々のジャッジの評定の独立性を担保し、評定に際し予見を排除するための措置を講ずる。
4. 競技監督は第7条3項にある運営委員が兼務する。

#### 第9条 参加チームと役割

1. チームは5名のプレーヤーにより構成する。
2. プレーヤーは実行委員会の管理のもと氏名、ニックネーム（インターネット上および誌面での公表名とし、本人の希望による任意設定とする）、メールアドレス、居住地域を実行委員会が定めた手続きで登録しなければならない。
3. チームはプレーヤーのなかからキャプテンを1名任命し実行委員会が定めた手続きで登録しなければならない。
4. チームはチーム名称を決め実行委員会が定めた手続きで登録しなければならない。ただしチーム名称が他チームに類似する等、実行委員会が不相当と認めた場合は変更を要請することがある。なおチーム名称が競技システム上の呼称として不都合となる場合は実行委員会で略称を定め使用する場合がある。
5. キャプテンはチームのリーダーとして一次予選参加の準備から実行委員会との合意締結、作品提出時の指揮をおこなうとともに、チームの運営と行動全般に責任をもってあたる。
6. プレーヤーやキャプテンが交代する場合、5月22日までに実行委員会に交代を届け出ること。

#### 第10条 作品

1. 作品はプレーヤーひとり1点ずつを必要とする。ただしプレーヤーのうち1名は第12条5項に挙げるタイブレイク用に1点の追加を必要とする。したがってチームでは合計6点を必要とする。
2. 撮影地域に制約は課さない。また撮影行動にあたりチーム行動または単独行動の制限は無い。
3. 対象とする作品は風景およびネイチャーをモチーフとした作品に限る。人物や人工物、建築物や建造物を被写体とすることは可であるが、人物の表情や動きを主体とした作品は不可とする。
4. 作品の審査基準を以下に定める。  
地域の特色や季節感、自然環境などが織り成す世界＝風景を捉えた写真作品を対象とし、鑑賞者の感動を呼ぶシーンを発見する感性やその美意識に訴える表現力を評価する。なお作品の判定に当たっては以下の3つの観点を踏まえた上で、ジャッジの独自性

を加味して決定を下す。

【発見力】被写体を見極める力、着眼点は秀逸か。

【構成力】適切な構図、フレーミングにより、撮影者がその場で抱いた感動を伝えることができているか。

【技術力】適正な知識や技量に基づいて機材を扱い、風景を捉えているか。

\* 発見力、構成力、技術力の3つの観点には優先順位を設けず、ジャッジ各々が判定において重要視した観点を挙げ、講評のなかで説明する。

\* 発見力、構成力、技術力の3つの観点は「ジャッジの独自性」に優先するものとする。

## 5. 作品への評点

ジャッジは提出された1作品ごと、4項に挙げる審査基準にもとづき5点満点で評点をつける。評点は提出された全作品からタイブレイク用を除く作品に対する相対評価とし各評点ごとの作品数の割合は下記とする。

5点： 15%±1%

4点： 20%±2%

3点： 30%±3%

2点： 20%±2%

1点： 15%±1%

## 6. 提出される作品には以下の条件を課す。

- ① デジタルカメラで撮影された作品であること。スマートフォン、携帯電話、タブレット端末に搭載された撮影機能で作られた作品でないこと。
- ② ドローンを用いた撮影等、空撮ではないこと。
- ③ 異なる複数の場面をひとつの画面に合成していないこと。ただし構図や撮影範囲を変えずに撮影した多重露光による作品および比較明合成・比較暗合成および被写界深度合成による作品はこの限りではない。
- ④ 撮影者が被写体に対して行う演出行為がされていないこと。例として人や撮影者の飼育動物を配した演出、被写体の移動や加工、予め現場になかった自然物や小道具の持ち込みなどが該当する。
- ⑤ 人工光等での演出行為がされていないこと。例として撮影者が制御できる光源や反射物（レフ板を含む）を画面内に入れることが該当する。
- ⑥ 補助光源およびレフ板はそれぞれ1個に限る。これらの位置はカメラ位置を起点とした撮影者の手持ちの範囲内とする。
- ⑦ ④～⑥の制約は撮影者の意図による演出に限定するものであり、下記の光源や反射現象について制約を課すものではない。

街灯や建築物照明等

車両、船舶、航空機などの交通機関等

#### 撮影者以外の人物の所持品等

- ⑧ PL フィルターや ND フィルターなど各種フィルターの使用に制限はない。
  - ⑨ RAW ファイルからの現像、トリミング、レタッチ等の修正は可とする。
  - ⑩ 提出するファイル形式は JPEG に限る。また第 11 条 6 項で選択された撮影日を確認するため Exif 情報を付帯していること。
  - ⑪ 作品は以下のいずれにも該当しない未発表作品に限る。
    - (ア) いかなる会場においても写真展（個展、グループ展）で展示した作品。
    - (イ) Facebook、Instagram、ブログなど SNS を含むインターネット上に公開中の作品。
    - (ウ) 雑誌、書籍、新聞、チラシ、パンフレット、カレンダーなど印刷媒体に掲載された作品。
7. 提出された作品は実行委員会で解像度の調整（長辺 4096 ピクセル）のほかは一切の編集や加工をしない。作品の天地および左右違いがあっても提出作品を提出（アップロード）した状態で審査され、その結果によって評点や判定の変更および競技のやり直しはおこなわない。
8. 提出された作品について第 6 項のいずれかの条件を満たさないことが疑われる場合、および第 2 条に挙げる大会の理念にそぐわない作品と判断される場合、実行委員会は以下の措置を講ずることがある。
- ① 一次予選競技会の開催前  
作者またはキャプテンに確認ののち違反が確定した場合は当該作品の得点をゼロとする。
  - ② 一次予選競技会の開催中  
ジャッジから実行委員会に報告し、実行委員会で審議ののち作者またはキャプテンの確認を経て違反が確定した場合は当該作品の得点をゼロとする。
  - ③ 一次予選競技会の終了後  
実行委員会で審議ののち作者またはキャプテンに確認をおこない違反が確定した場合は事例として記録し全参加チームに報告する。なお結果および記録の変更はおこなわない。

#### 第 11 条 一次予選競技会までの進行

1. 競技説明会の開催  
一次予選および別に定める二次予選および本選についてのルールや参加要項の説明会を 2025 年 2 月 15 日 20 時より電子会議システム Zoom を用いインターネット上でおこなう。参加を予定しているチームのキャプテンまたはプレーヤーは出席するのがのぞましい。
2. 参加チームの登録

2026年4月25日0時より2026年5月16日15時まで、参加チームは実行委員会がインターネット上に用意した申し込みフォームからチーム5名（うち1名はキャプテン）のメールアドレスの登録をおこなう。実行委員会は登録手続きが完了したチームのキャプテンおよびプレイヤーに作品アップロード等の案内をメールでおこなう。

### 3. 参加チーム数の制限

参加チーム数によって競技会を下記にしたがって開催する。

参加チーム数が6未満： 一次予選、二次予選、本選の見合せ

参加チーム数が6～8： 一次予選、二次予選の見合せ。本選は開催

参加チーム数が9～16： 一次予選の見合せ。二次予選、本選は開催

参加チーム数が17以上： 一次予選、二次予選、本選とも開催

参加チーム数が20を大きく上回ると実行委員会が判断した場合、参加登録の受付を早期に終了させることがある。

### 4. 参加料金の支払

キャプテンは実行委員会が指定する方法により参加料金(チームあたり15,000円)の支払い手続きを2026年6月8日までにおこなう。なお第3項にある一次予選開催を見合わせた場合、すでに支払われた参加料金は二次予選または本選の参加料金の一部に充当する。本選の開催を見合わせた場合、振込手数料を差し引きキャプテンに返金する。

### 5. 参加料金が未払いのチームは辞退として扱う。

### 6. 一次予選ルールミーティングの開催

- ① 一次予選ルールミーティングは2026年5月16日20時より電子会議システムZoomを用いインターネット上でおこなう。一次予選ルールミーティングにはチームのキャプテンまたはプレイヤーの出席を必要とする。
- ② 一次予選ルールミーティングでは一次予選および二次予選そして本選の競技内容の説明等をおこなう。
- ③ 第3項にある一次予選見合せとなった場合であっても、一次予選ルールミーティングを二次予選および本選の説明会に変更して実施するため、一次予選応募チームのキャプテンまたはプレイヤーは出席すること。

### 7. 撮影日の選択

- ① 撮影日は2026年5月23日より2026年6月7日のあいだからプレイヤーが選んだ6日程以内とする。
- ② 撮影日の選択は撮影日の7日前までに実行委員会が用意したWebサイトからプレイヤーがおこなう。これはキャプテンが代行することも可能とする。
- ③ 選択した撮影日の変更は可能であるが、過去となった日程や直近6日以内の撮影日の変更はできない。

### 7. 作品のアップロード

- ① 作品は大会実行委員会が用意したフォームへ2026年6月8日24時までにキャプテンまたはプレイヤーがアップロードをおこない、これをもって作品の提出とする。
  - ② アップロード締切り後の作品の差し替えは一切認められない。
  - ③ アップロードした作品画像に欠損等の不備があると実行委員会が認めた場合、キャプテンに再提出の依頼と提出期限を明示したメールを送る。再提出に応じなかった場合はさきに提出された作品画像を一次予選競技会で扱う。このとき作品画像が全欠損（全く表示されない）と実行委員会が認めた場合は未提出として得点ゼロで扱う。
8. 作品のアップロードが無かったプレイヤーは欠員とする。欠員となったプレイヤーぶんの参加料金の返金はしない。欠員が3名以上のチームは失格とする。

#### 第12条 一次予選競技会の構成

1. 一次予選競技会は2026年6月13日に下記会場でおこなう。  
Leofoto/Summit Creative ショールーム(埼玉県西川口)
2. 一次予選競技会の構成は、プレイヤー1名ずつ作品を開示し3名のジャッジから各5点満点、合計15点満点の評点と講評を受ける。これをゲームと呼ぶ。このゲームを全チームから各1名に対しておこなう。これをステージと呼ぶ。
3. 各チーム5名の作品を扱うため、ステージを5回実行する。
4. 作品はチームごと、アップロードした順序に従い開示される。
5. チームの順位はチームごと評点の平均点を求め小数点以下2位で四捨五入し降順に並び替えて決定する。5回のステージ終了時点で同じ平均点になった場合はタイブレークとし、タイブレーク用に提出された作品1点どうしをジャッジが協議して順位を決定する。
6. チーム順位から上位16チームを二次予選出場チームとする。
7. 二次予選出場チームに辞退が出た場合の扱いは二次予選レギュレーションで定める。
8. 競技中は各評点についてジャッジの氏名、作品についてプレイヤー名(ニックネーム含む)とチーム名はすべて伏せてすすめる。二次予選出場チームが決定した時点で出場チーム名のみ公表する。
9. ライブ配信  
一次予選競技会の模様は YouTube ePHOTOMATCH チャンネルで配信する。
10. タイムテーブル(参加チーム数などにより変動あり)  
10:00 開会  
10:10 ステージ1～2  
(12:00～13:00 休憩)  
13:00 ステージ3～4

(15:00～15:15 休憩)

15 : 15 ステージ5

16 : 30 タイブレーク、順位確定

17 : 00 閉会

### 第13条 作品の扱い

#### 1. 作品の使用権

一次予選で使用した作品は、運営委員、『風景写真』編集部、『フォトコン』編集部の三者が無断かつ無償で使用することができる。ただしその用途は『風景写真』『フォトコン』誌への掲載またはフォトマッチの報道、宣伝、広報および学術研究に限られる\*。

#### 2. 作者氏名等の公表

誌面や公式 Web サイト等への掲載等、登録された氏名またはニックネームおよびチーム名は、これらの媒体で公表される。

\*これらは『風景写真』『フォトコン』誌では既発表作品として扱う。これらの作品について原稿料等の支払いはしない。それ以外のゲームにだけ使用された作品については『風景写真』『フォトコン』誌では未発表作品として扱われるが、それ以外のフォトコンテスト等においてはそれぞれの主催者の判断による。

### 第14条 一次予選運営の費用および参加費の扱い

1. 一次予選の開催に必要な費用は参加チームが支払った参加料を充当する。

2. 主催者の抗力が及ばない事態によって一次予選の全部または一部が開催できなくなった場合、主催者は支払われた参加費の返金の責任を負わない。ここで主催者の抗力が及ばない事態とは天災、戦争、暴動、反乱、内乱、テロ、火災、爆発、洪水、盗難、害意による損害、ストライキ、立入制限、天候、第三者による差止行為、国防、公衆衛生に関わる緊急事態、国または地方公共団体の行為または規制および要請などを指す。

3. 開催で発生した収益は主催者に属し会計内容の公開はおこなわない。

### 第15条 免責

本レギュレーションの運用によって生じた如何なる事態や事故および損害等について実行委員会は一切の責を負わない。一次予選の全期間を通じプレイヤーの体調不良などの事情、撮影機材や情報通信機器の不調や故障・障害、ネットワーク遅延や不調等により一次予選の参加に支障が生じても実行委員会は一切の配慮を講じない。

#### 附則

一次予選での競い合いを示す用語として一般には「対抗戦」「対戦」など「戦」を用いるが、本レギュレーションでは「対抗選」「対選」など「選」を用いる。これは第2条に掲げた理念を鑑みTCCの競技は戦い合う競技ではなく選り合う競技である意図を反映した。

本レギュレーションは2026年4月25日より発効する。